

新設岡山盲・聾学校新校舎等整備基本計画の概要

1 基本方針

- ・これまで、岡山盲学校及び岡山聾学校が行ってきた高い専門性に基づいた視覚障害教育、聴覚障害教育を継承する学校を整備する。
- ・障害特性の異なる児童生徒等が同じ敷地内で学校生活を過ごす状況を踏まえ、基本的な生活空間の分離や動線の工夫などにより、児童生徒等が安心して教育を受けることができる環境を整備する。
- ・視覚障害、聴覚障害のある児童生徒等や、保護者等に対する幅広い教育的支援の充実を図るため、特別支援教育のセンター的機能を発揮できる学校を整備する。

2 整備計画

- ・視覚障害教育部門と聴覚障害教育部門を併設した新しい一体型の学校を設置する。
- ・共用部を除き、視覚障害教育部門の建物と聴覚障害教育部門の建物を別棟にするなど、基本的な生活空間を分離した併置タイプとする。

3 施設計画

- ・校内全体の施設において、動線の工夫や、空間認知しやすい施設整備の工夫などにより、安心して教育を受けることができる環境を整備する。
- ・障害による学習上、生活上の困難さを改善するためのタブレット端末や集団補聴システムなどのICT機器の活用を推進できるよう、情報通信環境を整備する。
- ・災害時の安全対策については、避難経路の工夫や、障害特性に応じた火災警報装置等の設置など、万全な対策を施した環境を整備する。

4 整備手法及び管理運営

- ・県が事業主体となって整備し、県が管理運営する。
- ・スクールバスの運行、給食の提供、施設の保守管理等で民間委託を検討する。

5 事業計画

(1) 施設整備費用 約6.3億円

(2) 管理運営経費 約1億円/年

(3) 新設校の概要

1) 設置部門 視覚障害教育部門、聴覚障害教育部門

2) 設置学部 幼稚部（聴覚障害教育部門のみ）、小学部、中学部、高等部、高等部専攻科（視覚障害教育部門のみ）

3) 学校規模 児童生徒等約100人（通学区域：全県）

(4) 施設整備の概要

1) 場 所 岡山市中区土田5-1 岡山聾学校の運動場

2) 建 物 鉄骨造等 3階建て 約11,500㎡

（構成）視覚障害教育部門棟、聴覚障害教育部門棟、食堂、寄宿舎等
（体育館は岡山聾学校の現体育館を改修：別途742㎡）

(5) 整備スケジュール

令和7～8年度 基本設計・実施設計

9～11年度 建設工事、校名・校歌等決定

12年度 開校

新設岡山盲・聾学校新校舎等 イメージ図

